1年点検整備記録簿（分解整備記録簿写し）

（注意）・点検時には必ず、呼称を行って点検項目・箇所・方法について明確にすること。呼称しない場合には、得点がない場合があります。
・点検時に不良箇所が見つかった場合には、審査員に口答および書面にて報告すること。
・**不良箇所の修復は実施しないこと（ただし、審査員の指示がある場合にはそれに従って下さい）。**

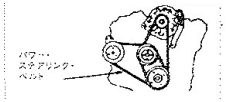
記載例		
	レ	良好，正常，異常なし
	×	修理，調整，給油（水），締付，交換
	／	該当なし

注意事項：
エンジンは始動しないで下さい
（クランキング操作含む）

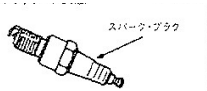
点検の結果及び整備の概要

エンジン・ルーム点検

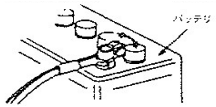
■パワー・ステアリング
ベルトの緩み、損傷 □



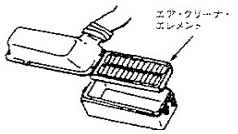
■点火装置
☆スパークプラグの状態 交換 ×
（白金プラグ・イリジュウム・プラグは点検省略可）
点火時期 レ
ディストリビューターのキャップの状態 □



■バッテリー、電気配線
ターミナル部の緩み、腐食 □



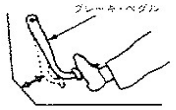
■エンジン
~~排気ガスの色~~ □
~~CO・HCの濃度~~ □
☆エア・クリーナー・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 □



■冷却装置
ファンベルトの緩み、損傷 レ
冷却水の漏れ レ

室内点検

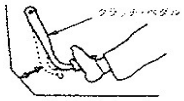
■ブレーキ・ペダル
遊び □
踏み込んだときの床板との隙間 □
~~ブレーキの効き具合~~ □



交換

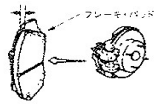
■パーキング・ブレーキ・レバー（ペダル）
引きしろ（踏みしろ） □
~~パーキング・ブレーキの効き具合~~ □

■クラッチ・ペダル
遊び □
切れたときの床板との隙間 □

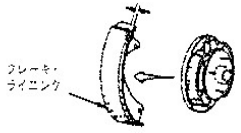


足廻り点検

■ディスク・ブレーキ (分)
☆ディスクとパットとの隙間 レ
☆ブレーキ・パットの磨耗 レ

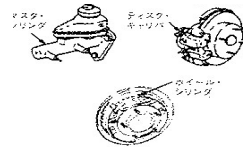


■ドラム・ブレーキ (分)
☆ドラムとライニングとのすき間 レ
☆ブレーキとライニングの摺動部分、ライニングの磨耗 レ



■ホイール
☆タイヤ空気圧 □
☆タイヤの亀裂、損傷 □
☆タイヤの溝の深さ、異常磨耗 □
~~スペアタイヤの空気圧~~ □
☆ナット、ボルトの緩み □

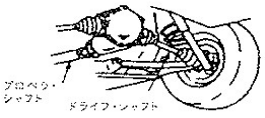
■ブレーキのマスタ・シリンダ・ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ (分)
マスタ・シリンダの液漏れ □
ホイール・シリンダの液漏れ レ
ディスク・キャリパの液漏れ レ



下廻り点検

■トランスミッション、トランスファ
☆オイル漏れ レ
☆オイルの量 レ

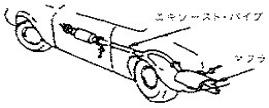
■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト
☆連結部の緩み レ



■エンジン・オイル
漏れ レ

■ブレーキ・ホース、パイプ
漏れ、損傷、取付状態 □

■エキゾースト・パイプ、マフラ
☆取付部の緩み、損傷、腐食 レ
☆遮熱板の取付部の緩み、損傷、腐食 レ



日常点検

ブレーキ液の量	□
バッテリ液の量	□
冷却水の量	□
エンジン・オイルの量	交換 ×
~~エンジンのかかり具合、異音~~	□
~~低速、加速の状態~~	□
ヘッドランプ・ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷	□
ウインド・ウオッシャ液の量	□
ウインド・ウオッシャの噴射状態	□
ワイパの拭き取り状態	□

② 交換部品等

交換部品等	数量
エンジン・オイル	2.8 ℓ
オイル・フィルタ	1 個
LLC（ロング・ライフ・クーラント）	ℓ
ブレーキ・フルード	ℓ
スパークプラグ	3 本
	個

① 不良と判断した点検項目の不良箇所とその状態を記入しなさい

記入例）
右後　タイヤの空気圧不足

メンテナンスに関するアドバイス

記録簿上の赤字は点検整備済みとする

●タイヤの溝の深さ（1，6mm以上）
実測値を記入

前輪	左	mm	右	mm
後輪	左	mm	右	mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左	7.0 mm	右	7.0 mm
後輪	左	3.5 mm	右	3.5 mm

●タイヤの空気圧
実測値を記入

前輪	左	kPa	右	kPa
後輪	左	kPa	右	kPa

●パーキング・ブレーキ・ペダルの踏みしろ
実測値を記入
ノッチ

チーム名

点検年月日
年　月　日

（☆は1年5000km以下、★は2年10，000km以下の走行距離によって省略できる項目）